

建設経済分科会 会議記録

- 1 期 日 令和4年6月3日(金)
午前11時20分 開会
午後0時10分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 清水 寛
副委員長 竹中 理
委員 荒木慎太郎、石田 清、
須山 泰一、西田 真、
森垣 康平、米田 達也
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 (別紙のとおり)
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主査 伊藤 八千代
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

建設経済分科会長 清水 寛

建設経済分科会 次第

日時：2022年6月3日(金) 本会議休憩中
場所：第3委員会室

1 開 会

2 分科会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分担案件の審査について

ア 分科会審査

(ア) 第60号議案 令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第2号)

(2) 意見・要望のまとめについて

ア 分科会意見・要望のまとめ

4 その他

5 閉 会

建設経済委員会名簿(6/3)

=6/3建設経済委員会出席不要

【委員】

職名	氏名
委員長	清水 寛
副委員長	竹中 理
委員	荒木 慎太郎
委員	石田 清
委員	須山 泰一
委員	西田 真
委員	森垣 康平
委員	米田 達也

8名

【当局】

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
環境経済部長	坂本 成彦	環境経済課長	富岡 隆		
		大交流課長	宮垣 均	大交流課参事	島津 太一
				大交流課参事	瀧本 文代
コウノトリ共生部長	川端 啓介	農林水産課長	柳沢 和男	農林水産課参事	村田 一紀
				農林水産課参事	山本 隆之
		コウノトリ共生課長	宮下 泰尚	コウノトリ共生課参事	宮田 裕史
		地籍調査課長	依田 隆司	地籍調査課参事	上阪 善晴
都市整備部長	澤田 秀夫	建設課長	富森 靖彦	建設課参事	北村 省二
		都市整備課長	久田 涉		
		建築住宅課長	山本 正明	建築住宅課参事	谷垣 秀人
城崎振興局長	植田 教夫	地域振興課参事	橋本 郁夫	城崎温泉課長	山田 和彦
竹野振興局長	石田 敦史	地域振興課長	平尾 喜彦		
日高振興局長	小谷 士郎	地域振興課参事	吉田 政明	地域振興課参事	上野 和則
出石振興局長	村上 忠夫	地域振興課参事	川崎 隆		
但東振興局長	大岸 和義	地域振興課参事	小川 一昭		
上下水道部長	河本 行正	水道課長	谷垣 康広	水道課参事	井垣 敬司
		下水道課長	榎本 啓一	下水道課参事	堀田 政司
農業委員会事務局		農業委員会事務局長	安藤 洋一		

4名

【議会事務局】

職名	氏名
主査	伊藤八千代

1名

計 13名

午前11時20分 開会

○分科会長（清水 寛） それでは、ただいまから建設経済分科会を開会いたします。

ということで、今日は非常に短い時間の中で即決ということなので、スムーズに進めていきたいと思っておりますので、当局の皆さんも委員の皆さんも簡潔明瞭によりしく願います。

それでは、分担案件の審査に入ります。

これより、3、協議事項、分担案件の審査に入ります。

本日の分科会は、本議会、また予算決算委員会を休憩して開催しておりますので、委員の皆さん、当局の皆さん、質疑・答弁に当たりましては、くれぐれもよろしく願います。簡潔明瞭にさせていただきたいと思っております。

予算決算委員会の再開予定時間というのが、先ほど議場のほうでありましたけど、1時15分ということなので、何としてでもそこまでには終えたいということですので、よろしく願います。

それでは、第60号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

当局の説明は、所管事項に係る部分について、課ごとに歳出、歳入の順に説明をお願いします。

それでは、環境経済部環境経済課、富岡課長、よろしく願います。

○環境経済課長（富岡 隆） では、歳出のほうから説明させていただきます。

議案の199ページをご覧ください。一番下の枠になります。

○分科会長（清水 寛） ちょっとお待ちください。

はい。

○環境経済課長（富岡 隆） 一番下の枠になります。商工振興事業費です。環境経済課からは、プレミアム付商品券の発行と商店街消費拡大支援事業の2事業を予算要求させていただいております。

まず、プレミアム付商品券の発行からでございます。今年は3年ぶりに行動制限がないゴールデンウィークでしたが、少しずつコロナの前の生活に戻ってきている感はありますけども、経済状況は長引く

コロナの影響に加えて、諸物価の値上げによりまして、まだまだ厳しい状況にあります。そこで、消費の落ち込みを緩和するために、1万円で1万2,000円の商品が購入できる20%のプレミアム付の商品券を発行し、市民と一体となった域内消費で落ち込んだ消費を喚起して、市内事業者の支援を図るため本事業に取り組みたいと考えています。

事業内容ですが、通信運搬費につきましては、住民基本台帳に登録されている方に商品券の購入引換券を送付するための郵送料となっております。

次に、業務委託料ですが、具体的な委託事務につきましては議案の201ページをご覧ください。一番上の枠の上から1から3行目の内容となりますが、性質的な区分につきましては、商品券の販売に係るものが12億円、市のプレミアム負担分が20%の2億4,000万円、事務費が4,509万9,000円となっております。これは、住民基本台帳の登録者の約8割の方が2セット、つまり2万円分の商品券を購入され、市内業者を応援していただけることを想定しています。この想定どおりにご協力いただけた場合、14億4,000万円の経済効果を期待しております。

次は、商店街消費拡大支援事業になります。先ほど201ページの上の枠の続きとなりますが、この事業はコロナによる消費の落ち込みを回復するために、商品券やポイントシール事業を実施される商店街を支援する事業です。県の補助対象の上限が1商店街当たり1,200万円となっており、2つの商店街分の2,400万円を計上しています。具体的な内容は、各商店街で検討されていきます。

次に、歳入についてご説明いたします。197ページをご覧ください。一番上の枠の上から3つ目、地方創生臨時交付金のうち3億1,300万円が、先ほど説明しました2事業分となります。

次の枠をご覧ください。商店街消費拡大支援事業に係る県の補助金です。補助率は3分の2ですので、1,600万円を計上しています。

1つ飛びまして雑入です。プレミアム付商品券の販売収入でございます。先ほど説明しましたとおり、

住民基本台帳登録者の約8割に当たる6万人の方が2万円分の商品券を購入いただけると見込み、12億円を計上しています。いずれも早急に取りかかりたいと考えておりますので、今回このような上程をさせていただきました。よろしく願いいたします。

環境経済課からは以上です。

○分科会長（清水 寛） それじゃあ、続けて、大交流課、宮垣課長。

○大交流課長（宮垣 均） 大交流課からは、まず歳出について説明させていただきます。

201ページをご覧ください。上から2つ目の枠です。大交流課からは観光事業費と海外戦略推進事業費の2事業を上げさせていただいております。

まず、観光事業費ですが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、市内観光業の低迷が続いております。その早期回復を目指し、次の2つのことを予定しております。まず、市内周遊促進事業としまして、現在行っています、どう転がっても面白い六面体豊岡デジタルスタンプラリーの事業を夏休み期間中にも実施し、期間中の観光需要を喚起するとともに、市内周遊を促していきます。委託料996万3,000円を計上させていただいております。主な内訳としましては、キャンペーンサイトの制作に50万円、それからデジタルスタンプラリーシステムの利用料として50万円、それからプロモーション費用に232万5,000円、それから抽せんプレゼント、それからオリジナルグッズ等に450万円を計上させていただいております。

次に、反転攻勢支援事業費としまして、各地域の経済回復を支援するために、市内の観光協会等が実施する誘客イベントなどに必要な経費の一部を補助します。補助率は対象経費の3分の2以内、上限300万円としております。補助金1,500万円を計上させていただいております。

次に、海外戦略推進事業費ですが、6月10日から訪日観光が再開されることとなりました。今後、来日する外国人観光客の方々に着実に選ばれる観光地となるために、いち早くプロモーションを行い

たいと考えております。機動的プロモーション事業として、台湾、アメリカ、オーストラリアをターゲットとしたウエルカムキャンペーンを実施いたします。誘客促進として、ウェブ上でのプロモーションを展開したり、海外メディアへ記事掲載するなど、豊岡への露出を高めたりします。また、インスタグラムを使った投稿キャンペーンも企画しております。委託料2,566万9,000円を計上させていただいております。

続きまして、歳入について説明させていただきます。

197ページをご覧ください。上から3つ目の枠、地方創生臨時交付金のうち5,063万2,000円が該当し、10分の10で充当させていただいております。この事業、いずれも早期に実施したいと思っておりますので、今回の委員会にかけさせていただきました。よろしく願いします。

○分科会長（清水 寛） よろしいですか。

それでは、説明は終わりました。

質疑ありませんか。

森垣委員。

○委員（森垣 康平） ちょっとたくさんございますので、まず、プレミアム商品券の件について、まず2点お聞きしたいと思います。

まず1点目が、これ、郵便局で販売というふうにしたしか書いてあったと思うのですが、土日の販売というのはどこまで考えられているんでしょうかねという点。ちょっと前回、郵便局販売だったときに、ちょっとそういった土日で私ら買えれへんわみたいな声がちょこちょこあったもんで、その辺どこまで考えられているのかなという件と、もう1件、買われるときの本人確認を、確かに引換券を持っておられるので、それでも済ませてしまうのか。例えばそこで別の人のやつを持ってきて、一遍に複数枚、8人分とかできるのかできないのか、ちょっとその辺を詳しく教えていただけませんか。取りあえずそこまで。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 販売のところは、ご

指摘のとおり郵便局で委託をしようと思っております、今回につきましても郵便局の営業時間の販売ということで、土日の販売につきましても現在のところは考えておりません。

今までは券のほうを予算の範囲内ということ、早い者勝ちみたいな感じもございましたが、今回は住民基本台帳に登録されている方に全て購入引換券を郵送いたしますので、安心してゆっくり買っていただけのかなというところもございますので、郵便局に行けるときに買いに行ってくださいましたら、確実に買えるのかなというふうに考えているところでございます。

それから、本人確認のほうですけれども、換金の引換券を郵送しますので、それを持ってこられるとその方に売るということで、理論上は確認しなくてもいいかなと思うんですけれども、一応念のために確認はしていただきたいなというところで郵便局と今話はしております。

あとは、小さいお子様にも全部引換券を渡しますので、きっと保護者の方が買われるのかなと思えますけれども、一応今、委任状形式ということで、引換券には委任状の名前を書く欄がございまして、その名前とお母さんの名前が、お父さんの名前が合っているみたいなどの確認もしていただくかなというふうに思っております。もしかしらご近所の方の分も併せて買われるというケースもあるかも分かりませんので、一応引き続き本人確認のほうはさせていただきたいなというふうに今のところは考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） そしたら、ご近所さんのやつも委任状形式とかいろんなやり方で、一応、例えば僕が竹中さんの分も買えるというふうに解釈してよろしいんですかね。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） そのようなこともあるというふうに想定しております。

○委員（森垣 康平） ありがとうございます。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） 続きまして、ちょっとごめんなさい、2回に分けたんですが、デジタルスタンプラリーの件、大交流課のほうだと思うんですが、これ、先ほどちょっと内訳の数字は細かく、ごめんなさい、少し聞き取れなかった部分もあったんですけど、大体思った以上に地元への還元というか、プレゼント部分の費用が大きかったので少しそこは安心しました。これ、始まって既にもう2週間ぐらい、第1期のほうはたってると思うんですが、現段階での登録ユーザー数と、それとそのうちの豊岡市民を外した人数ですね、ユーザー数。それから、当初、大交流課でこの事業、最初の1、200万円の予算で組んだときのKPI、幾らぐらいの人が利用してもらえる、景品幾らぐらい引換えするとかいった、そういった数字をちょっと教えてもらえたらと思うのですが。

○分科会長（清水 寛） 宮垣課長。

○大交流課長（宮垣 均） まず1つ目のご質問ですが、現在の参加者数ですが、昨日の午前中の時点で877人で、うち市民の方が491名、約56%の方が市民ということなので、そこから引いてもらった方々が、何人になるんですかね、386の方が市外の方ということになるかと思えます。

それから、2つ目のご質問についてですが、一応こちらのほう春キャンペーンの部分でのKPIを立てているのは、参加者1万人ということでKPIを立てております。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） すごく目標と現在の数字とに乖離があるように感じます。それで今回250万円のPR費を計上したっていうふうに解釈したらよろしいんですかね。250万円だったかな、何か宣伝広告費みたいなものがちょっとさっき、今回の補正で入ったと思うんですけど。

○分科会長（清水 寛） 島津参事。

○大交流課参事（島津 太一） 広告宣伝費はもとより計算していた金額でして、今立ち上がり、浸透するまでに少し時間がかかっていると思っております。既に市内各所への周知及びポスターなどの掲示

を今改めて徹底しているところで、今ご指摘のあった費用についてはウェブで、またはSNSで今、これから拡散していこうと。新たにプッシュするために新規で取ったわけではなくて、当初より計上しておりました。以上です。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） これ、ちょっと前回の1, 200万円のときも少し思ったのですが、さらに、夏休みといえばファミリー層が利用が多いので、確かにこれ向きだとは思いますが、合計で2, 000万円以上使って、利用者がこのままの数字で推移してしまうと、相当ちょっと寂しいというか、ちょっとどうなのかな、費用対効果まで考えてしまうと引かかるのですが、その辺はどう。もっともっと増えていきますよって思っておられるのか、頑張りますみたいなぐらいで終わるのか、ちょっとその辺をお聞かせいただけたら。

○分科会長（清水 寛） 島津参事。

○大交流課参事（島津 太一） ご指摘ありがとうございます。まさしく我々もそこを非常に強く念頭に抱いているところでございまして、まず、1万人という非常にチャレンジングな目標を立てましたが、まずここ、目標を達成しようということで我々考えております。1つには、市外のお客様を呼び込むという施策ですので、そういったところ、駅媒体などの周知、ここを徹底していくこと。あわせて、大交流ビジョンでも掲げておりますが、市民の方々の参加も併せて呼び込んでいきたい、そういったことを考えておりますので、ご質問にお答えするならば、1万人限りなく目指していきたいというふうに考えております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） ぜひ頑張ってください。応援はしたいと思いますので。大変チャレンジ的な数字だとは思いますが、頑張ってください。

すみません、もう一つ追加で、追加というか、もう一つなんですけど、インバウンド再開に向けた機動的プロモーション事業ということで、これさっきこの全額を委託料という言い方をされたと思うの

ですが、これはもうTTIに全てお任せするという形というふうに解釈してよろしいでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 宮垣課長。

○大交流課長（宮垣 均） 全てということではなくて、こちら側で委託をする場合もあります。基本的に、すみません、訂正します。TTIに委託をしますが、内容的な部分としては、動画のプロモーション制作とかもありますので、そういった部分が、例えば800万円ほど、それからウェブ広告で320万円ほど、メディア掲載のほうでペイドメディアにするものが700万円ほどというような形で委託ということにしております。

○分科会長（清水 寛） 森垣委員。

○委員（森垣 康平） 分かりました。よく今までのパターンで、委託されることはTTIはその目的でつくられた組織ですので問題ないと思うのですが、何か1回委託してしまうと、その後の大交流がどう関わっているのかがちょっと外部から見にくくて、いや、TTIに任せてますみたいな、何かちょっと、何ですかね、投げやりじゃないですけど、私らはよく分かりませんみたいなことがたまにちょっとあったもので、できれば全面的に、よく関わっておられるとは思いますが、丸投げするのではなくて、やはり大きな予算ですので、大交流もきちりその辺はハンドリングも併わせてお願いしたい。これはお願いで、よろしく願いいたします。以上です。

○分科会長（清水 寛） ほかにありますか。

西田委員。

○委員（西田 真） 何点かお尋ねをいたします。

今回のプレミアム商品券が15億何がしかで一番大きい金額でありますけど、これは本当にいいことだと思います。特に全ての商店ということで、今回は手挙げ方式なんですけど、そういう格好で漏れないように広報のほうをしっかりとやっていただきたいと思います。そんなこと知らなんだとか、後でそういう個々の商店も含めてそういうことが出ないように、その辺の周知を必ず行っていただきたいということを1点。

そして、引換えのほうなんですけど、先ほど森垣委員のほうからもありましたけど、委任状で他人の分まで買えると、そういうこともありましたけど、これ、ちょっとなかなか難しいかなと、また不正や何かで1人が何十人分とか、そういうことも可能性もありますんで、その辺は十分注意をされるようお願いしたいと思います。何世帯分の委任状でも大丈夫ですよというようなことがないように、ちょっと大げさな言い方かもしれませんが、その辺で不正が起こる可能性は十分あり得ますんで。

そして、住民基本台帳に記載のところで約6万人分ということをおっしゃられましたけど、それを今度は購入されない方もかなり出てくると思います。余ったときの再販売の考え方はどうかということ、それも確認をしたいと思います。

そして、経費のほうは4,500何がしという金額を言われたと思いますけど、ちょっとその辺もうちょっとはっきり、聞き漏れたんでお願いしたいと思います。これは販売は郵便局と、そして換金のほうは商工会のほうということなんですか。その委託料はいくらか、その辺のパーセンテージと金額、その辺をちょっとまず教えていただきたい思います。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 最初、ご指摘の、店舗のほうに漏れないよう、聞いてないということがないように周知のほうは徹底していきたいと思えますし、商工団体とも連携を努めて準備をしていきたいなというふうに思っております。

それから、委任状につきましても、ありがとうございます。そのようなことも心配はあるかも分かりませんが、いろいろな事情でちょっと買いに行けないなという方につきましては、隣近所の親切な気持ちの中でのしていただけると、多くの方がクーポンにたどり着けるのかなというふうに思っておりますけれども、あまりにもたくさんそういうことになりますと不正になりますので、事務の流れにつきましては再度検討しながら進めていきたいなというふうに思っております。

それから、余った場合の再販売につきましては、状況を見ながら検討をしていきたいなというふうには思っております。

それから、大変失礼いたしました。事務費の関係のほうですけれども、議案書の201ページをご覧ください。業務委託料のうちプレミアム付商品券の換金等の業務につきましては、商工会議所、それから、商工会のほうに委託をする予定にしております。金額のほうは14億6,940万3,000円です。もう一度言います、14億6,940万3,000円です。

次の2つ目ですけれども、プレミアム付商品券の販売引換券の制作業務のほうでございます。こちらは引換券の印刷代ですとか、それから名入れ作業といえますか、そういったことになりますので、市内の業者の方をお願いする想定で、予算額としては861万6,000円を計上しております。

それから、3つ目のプレミアム付商品券の販売業務につきましては、郵便局のほうをお願いをしたいと考えておりまして、予算額のほうは708万円で、合計14億8,509万9,000円の予算というふうに計上しております。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） これの手数料的なもんが何ぼっておっしゃいましたか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 手数料、郵便局の販売手数料の関係でしょうか。郵便局の販売手数料につきましては、従前の予算としては59円で、1件当たり要求はしておりますが、ちょっと価格のほうは、単価のほうは少し上がるというようなことを今話になっておりまして、これから予算がつきましたら、至急郵便局に詰みたいなというふうに思っておりますけれども、セット当たりの、1セット販売していただくに対してどれくらいかというところがあります。

それから、金融機関の換金手数料も中に入っておりますが、こちらのほうは商品券1枚当たり2.2円で計算しております。

それから、各店舗の振込手数料につきましては、通常の金融機関の振込手数料、市の公金の手数料ではなくて、通常の商取引の手数料、通常の振込手数料を支払う予定としております。

手数料の関係は以上となります。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 委員長、今言われとった手数料の細かいやつ、ちょっと一覧を出していただくことは可能でしょうか。

ごめんなさい、続けて、手数料のパーセンテージ、この金額に対して商品券1万2,000円分で1万円で購入するわね。それで、換金の手数料は、郵便局とか商工会議所とか、その辺を含めて、これに対して何%がそういう手数料いうんか、事務経費いう格好になるんですかね。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 予算につきましては、先ほど申し上げましたように、今までのものを継続した単価でしておりますが、それぞれが少し料金の改定を申されているようですので、実際のところは予算が認められた後、協議をしながら単価設定をしていきたいと思っておりますので、その後でもよろしいでしょうか。（発言する者あり）予算の段階のものでよろしいですかね。じゃあ、予算の段階のものでしたら、また出させていただきます。

○委員（西田 真） 委員長、じゃ、それ、よろしくをお願いします。資料を出して資料。

○分科会長（清水 寛） 資料。ちなみに、今日のは即決なんで、資料は後でもいいですか。

○委員（西田 真） 後でもいいですけど、今、大体言われたことは分かりますけど、細かいことの資料を後日提出いただければと思っておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。

それから、よろしいか、続けて。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） 商店街のほうなんですけど、2商店街ということなんですけど、これ、駅通り商店街と宵田商店街でよかったのでしょうか。そして、それ以外の商店街のほうで手を挙げたとか、そうい

うことを聞いてないとか、そういうことはないという考えでよろしいのでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 富岡課長。

○環境経済課長（富岡 隆） 県のほうの事業になりますので、エントリーされるかどうかというところを商工会議所、それから商工会を通じて確認をいただいたところ、委員ご指摘のとおり、宵田商店街と、それから駅通り商店街のほうが入りをしたいということでございましたので、2商店街分を上げております。他の商店街と違いますか、商店街に見合うところですが、ポイントシールの組合のところにつきましては、要望がなかったということ聞いておりますので、報告させていただきます。以上です。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） その辺で、ほかの商店街が聞いてないということがないような格好で県のほうも周知はしてると思うんですけど、市としても受けるほうとして、その辺はちゃんと周知をするべきだと思いますんで、その辺はよろしくお願ひしたいと思います。

それから、市内観光協会との反転攻勢支援の分なんですけど、これは観光協会のほうにされるということなんですけど、これの上限が300万円ということであるんですけど、これは観光協会、いろいろと、旧1市5町ですけど、あるんですけど、その辺の振り分けみたいな、こちらとして分かるのでしょうか。

○分科会長（清水 寛） 宮垣課長。

○大交流課長（宮垣 均） 観光協会のほうの振り分けということは、全ての観光協会に一応問い合わせして、やりたいというような意思是示していただいておりますので、全体の振り分けで額ということを決めておりませんが、各観光協会から出てくるものと考えております。

○分科会長（清水 寛） 西田委員。

○委員（西田 真） これは観光協会は旧1市5町が今は一つになってますんはね、ほんで6観光協会があると今認識してるんですけど、それが全部手挙

げたら1, 800万円になるんですけど、その辺の考え方はどうなんでしょうか。今では1, 500万円ということなんですけどね。どうでしょう。

○分科会長(清水 寛) 島津参事。

○大交流課参事(島津 太一) ご指摘のとおり、300万の上限で6観光施設が上がってくると1, 800万円になるんですけども、このアップの300万円を皆さんがなかなか全員申請されるっていうケースがそうそうないので、今回1, 500万円相当で収まるだろうというふうに我々勘定しております。

○分科会長(清水 寛) 西田委員。

○委員(西田 真) 予算的には300万円の上限の6団体で、6観光協会で1, 800万円の予算でされるのが普通だろうと思うんですけど、今までそういう例がなかったということで抑えてるということなんでしょうか。それだったらそれでよろしいんですけど、予算的にはそうやってマックスを計上するのが一番ベストかなと思いますので。観光協会としても、これだったら全員が手挙げりゃなとか、全部の協会ね、手挙げれへんのかなということが不安要素とならないように、予算的にはもう全部計上して、手挙げたときになるように予算のほうをつくらせていただきたい、今後ね、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○分科会長(清水 寛) ほかございますか。いいですか。

それでは、質疑を打ち切ります。

続いて、討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(清水 寛) 討論を打ち切ります。

お諮りいたします。本案は、原案のとおり可決すべきものと決定してご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(清水 寛) 異議なしと認めます。よって、第60号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で当分科会に分担された議案の審査は終了しました。

この際、当局の皆さん方から特にご発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(清水 寛) 特にないようでしたら、当局の皆さんはここで退席していただいて結構です。お疲れさまでした。

それでは、意見・要望のまとめということです。

本日審査しました第60号議案、令和4年度豊岡市一般会計補正予算(第2号)について、分科会審査における意見・要望についてご発言があればお願いします。(「暫時休憩していただいてよろしいですか」と呼ぶ者あり)

暫時休憩します。

午前11時53分休憩

午後 0時10分再開

○分科会長(清水 寛) いいですか。会議再開します。

では、分科会長報告についてですけども、特段、今回のこの議案についてはつけずに、それぞれ一般質問などでしっかりと意見を言っていたかということをしていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長(清水 寛) それでは、ほかにご意見がないようでしたら、以上をもちまして建設経済分科会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

午後0時10分 閉会
